

第 25 号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 左奈田雄一 編集 広報事業部

～ 施設訪問 ～

郊外型と都会型・施設の工夫



バスで送迎通所の郊外型施設。電車や徒歩での自力通所の都会型施設。施設のある地域によって通所方法だけでもこれだけ違います。今回臼井地区社協が 2 月に訪問した 2 カ所の施設。郊外型と都会型について、それぞれの特徴などについて紹介します。

広大な自然の中に建つ福祉施設「いんば学舎・草深（そうふけ）」

高年齢障がい者事業部 長谷川榮一

高年齢障がい者事業部 17 名が 2 月 5 日（火）に「いんば学舎」を訪問しました。ここは自然を感じ、自然と共に元気いっぱい毎日が送れる施設。現在 18 歳以上で知的障がいを持つ 37 名の人を通い、日々各人の希望と適性を取り入れた作業を行っています。「300 羽のにわとり農場」では、放し飼いの鶏に給餌、集卵、パック詰め作業、



「陶工房」では土から形までの作品づくり、そして「広大な有機農園」では、野菜作りの農作業活動を行っています。

隣接には、石窯で焼き立てのピザやパスタの「レストラン」と「パン工房」も運営されており、そこでも障がい者の皆さんが元気に働いています。美味でボリュームのある昼食を目当てに一般客も多数見えており、一生懸命に接客する姿にも感心しました。

障がいを持っていても家庭から通える、このような自然体の施設が各地域にも開設されることを願いながら施設を後にしました。

ピザレストラン・石窯パン
オンロク倶楽部

にぎわう商店街の一角にある障がい者支援施設

「地域活動支援・相談センターかさい」「なのはな作業所」・「かもめ事業所」

研修事業部 宇田川光三

障がいのある方及びその家族が、地域の中でより豊かな生活を送れるように様々な事業を展開している江戸川区の「地域活動支援・相談センターかさい」と近接の就労支援施設「なのはな作業所」・同「かもめ事業所」を、2 月 28 日（木）福祉委員 31 名で訪問しました。

江戸川区には「地域活動支援・相談センター」が 3 か所あり、訪問した「センターかさい」は、その一つで学校法人「滋慶学園：東京福祉専門学校」が区より業務受託しています。学校法人がこのような支援・相談事業をしているのは全国的にも珍しいとのこと。

主な活動内容は

相談事業（日常生活で困っていることについて、面接・電話にて相談を実施）

生活支援（食事作り等のプログラム、各種制度の利用に関する情報提供など）

地域交流（友達作り、のんびり過ごすためのスペース開放、行事への参加などを通じた地域の方との交流）を行っています。対応は専門職員のほか、学生のスタッフが交代で常駐しており、他の福祉施設では見られない新鮮な若い息吹を感じました。

近接の就労施設「菜の花作業所」ではクリーニング作業やディズニールランド等の企業から依頼されたグッズづくりなど、「かもめ事業所」ではお菓子の箱組立作業など、都心ならではの就労に対する需要と供給のバランスがうまく回転していると感じました。

今回訪問した「センター」と「就労施設」が、住民が普通に暮らしているにぎわいのある商店街にごく自然に存在していることに、多くのことを学ばせて頂きました。



ボールペン組立



菜の花作業所

いきいきサロン事業部

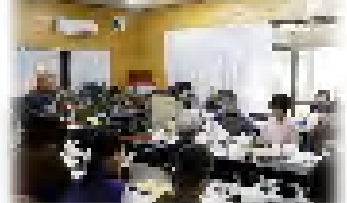
部員数 8 名(男性 3 名・女性 5 名)



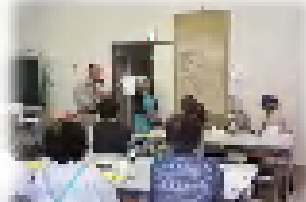
* 24 年度 各事業部活動まとめ *



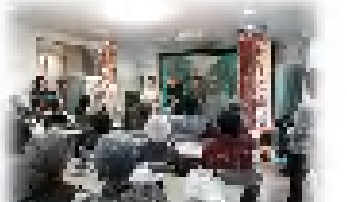
2/27・100 円野菜販売!
協力: ユーカリサンシャイン



ニッコー会館サロン



うすい荘サロン



稲荷台 2 丁目会館サロン

*100 円喫茶サロン各地域参加者数

- ・ニッコー班サロン (3 回) 141 名
- ・うすい荘班サロン (3 回) 69 名
- ・稲荷台班サロン (3 回) 82 名

*全 9 回で 292 名の方にご参加いただきました。

高齢者障がい者福祉事業部

部員数 26 名(男性 11 名・女性 15 名)



配食サービス出発



昼食会お弁当づくり

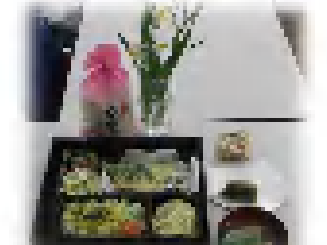
*ひとり暮らし高齢者の方への事業

- ・いこいの昼食会参加者 (2 回) 121 名
- ・お弁当配食サービス 71 食
- ・新春友愛訪問 (75 歳以上独居の方) 119 軒

*施設訪問 いんば学舎 17 名参加



いんば学舎訪問



昼食会お弁当(3月)

児童福祉事業部

部員数 16 名(男性 12 名・女性 4 名)



親子いもほり会



いもほり後ビンゴ

*児童への事業

- ・親子いもほり会 218 名参加
- ・老幼の館まつり 650 名参加
- ・王子台小学校昔の遊び 1 年生 62 名参加
(王子台地区社協と協働)



老幼まつり焼きそば出店

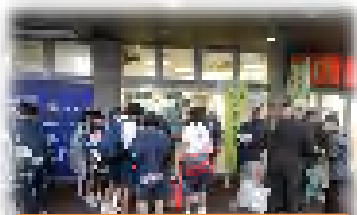


ビンゴ参加賞(イエローレシートキャンペーン受取商品)

(3) 臼井地区社協

地域福祉事業部

部員数 10名(男性10名)



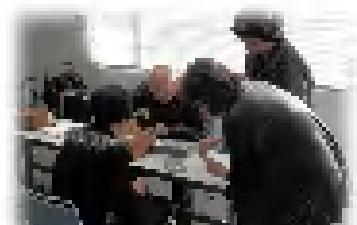
赤い羽根共同募金活動



歳末たすけあい募金活動



うすいふるさにぎわいまつり
おもちゃの店 出店



愛の箱集計作業

* 募金活動

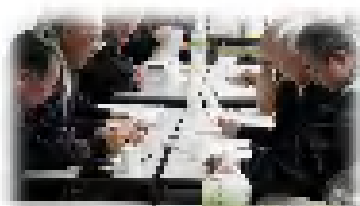
- ・赤い羽根共同募金活動(臼井西中と協働)
- ・歳末たすけあい募金活動

* 自主財源確保活動

- ・うすいふるさにぎわい祭り出店
- ・愛の箱集計作業(設置12カ所分)

研修事業部

部員数5名(男性5名)



新福祉委員研修



視覚障がい者の日常生活について

* 福祉委員・一般対象の研修会開催

- ・新福祉委員研修 12名
- ・障がい者家族との交流 68名
- ・公開講座 佐倉市福祉施策について 91名
- ・救急救命心肺蘇生法講習会 45名
- ・市外研修 障がい者活動拠点視察 31名



公開講座 佐倉市福祉施策



救急救命心肺蘇生法講習会

広報事業部

部員数7名(男性4名・女性3名)



* 広報紙発行(4回)それに伴う取材活動

* 広報紙以外の活動

- ・ホームページ 随時
- ・各種行事ポスター作成
- ・配食、友愛訪問等のパンフレット作成

臼井地区社協 活動報告

25年1月~3月

24年度	1月~3月	臼井地区社協行事一覧
25年 1月	19日(土)	臨時理事会
	22日(火)	お元気ですか?友愛訪問
	29日(火)	三地区社協連絡会議
2月	5日(火)	障がい者福祉施設いんば学舎訪問
	9日(土)	100円喫茶サロン(稲荷台班)
	16日(土)	第7回理事会
	23日(土)	第8回福祉委員定例会
	27日(水)	100円喫茶サロン(ニッコー班)
	28日(木)	地域活動・相談支援センターかさい訪問
3月	4日(月)	いこいの食事会(うすい荘)
	16日(土)	第8回理事会
	23日(土)	第9回福祉委員定例会

各地のボランティア紹介

「あなたも地域で活動してみませんか？」

以前連載として紹介してきた地域のボランティア。久しぶりに地域の活動を紹介します。

困ってませんか？ 高齢者家庭の粗大ゴミ 処分のお手伝いをしました！

行政による定期的な粗大ゴミ収集が中止になり、今は各家庭で業者に依頼して処分する方法に変わっています。しかし、面倒くさいとか、不安であるなどの理由で処分出来なくて、いつまでも保管している家庭が多い様です。今回、この様な問題に取り組んだ高齢者クラブ（野口クラブ・会長 田中隆氏）を紹介したいと思います。

このクラブでは、会員を中心に町会の方々のボランティアも募り、町内会の粗大ゴミ収集を実施しました。初回は、溜まりにたまった粗大ゴミが集まること、何と小型トラック 2 台で処分場まで 4 回運んだとの事です。

2 年目は、一部有料で実施しましたが、それでも多くのゴミが出てきた様です。又、高齢者宅では、重い物や 2 階にある物を運び出すのが大変で危険を伴います。これらもボランティアがお手伝いして運び出したそうです。

その後も町会の方々から「大変助かりました」「今後も続けて欲しい」との声が寄せられていると聞きました。この様な活動も広義の福祉と考えるならば、福祉活動は身近にもいろいろ有るような気がしました。

(宝田)



*** 愛の箱について ***

24 年度（24 年 4 月～25 年 2 月）は 12 箇所の設置と定例会などで、合計 37,236 円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

募金は敬老のつどいなどの臼井地区社協の活動に有益に使わせていただきます。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

イオン・イエローシートキャンペーンご協力のお願い

イオンで毎月 11 日にお買い物をする、黄色いシートが発行されるのをご存じですか？

24 年度後期（9 月～2 月）の結果がまとまりました。

今回は 1,158,996 円の投函をいただき、今年のサロンで使用する商品（コーヒー、お茶、紙コップ、お菓子等）11,600 円分をいただけることになりました。ご協力ありがとうございました。

25 年度も引き続きご協力をお願い致します。

臼井地区社協の箱には右の写真のシールが貼ってあります。



いろいろな団体がありますが、ぜひ「臼井地区社会福祉協議会」と書かれた箱へ黄色いシートをご投函ください！ 11 日以外でも投函はできます。

*** 編集後記 ***

今年の施設訪問は、奇しくも私達に異なるタイプの施設を見せてくれました。

自然を最大限に生かした「いんば学舎・草深」所謂郊外型と、都市住宅地の真ん中での受託作業形態の「なのはな作業所」などは、さしずめ都会型でしょうか。

どちらもそれぞれに特徴があり、郊外型では広大な敷地で「にわとり農場」「有機農園」での生産就労、そして収穫物の販売、接客、更には職員を置いたのケアホーム設備まで備えての障がい者の生活創り支援。

一方、都会型においては、制約された密集する住宅地で、障がい者の労賃作業を重点とした施設でした。スポーツジムから依頼のバスタオル類クリーニング作業などは、都市部ならではの需要に的確にマッチしており、とくに都会型特有のテーマとして、地域周辺住民との良好なコミュニケーションの醸成努力が不可欠です。

これら障がい者支援施設形態は、益々多様化するでしょうが、これからも地域のニーズ、環境に適合した多くの施設の開設を望みたいものです。（な）

*** ご意見はうすいセンターまで ***

「うすいセンター」(臼井・王子台・うすい東地区社協合同事務所)
 臼井地区社協担当日は
毎週月曜日・木曜日
 開館時間・午前 9 時半～午後 4 時半
 (12 時～1 時は昼休憩です)
 住所: 佐倉市王子台 1 23
 レイクピアウスイ 3 階
 電話: 043(462)0743
 メールアドレス:
 center-usui@catv296.ne.jp
 ホームページ:
 http://www.catv296.ne.jp/~usui-syakyo/